

## 競技・審判上の確認

競技委員長 石 崎 賢

審判委員長 鈴木 和彦

### 1 競技規則について

(1) 2019年度 公益財団法人 日本バレーボール協会6人制競技規則により実施する。ただし、ネットの高さは男子2m43cm、女子2m24cmとする。本大会はすべて3セットマッチとし、ワンボール・システムとする。

なお、大会使用球は、男子：モルテン製カラーボール「V5M5000」

女子：ミカサ製カラーボール「MVA300」とする。

### 2 チーム構成について

(1) チームは監督・コーチ・マネージャー各1名・選手18名以内とし、試合毎に14名以内の選手を構成メンバー表にエントリーする。なお、監督・コーチがともに外部指導者の場合は引率責任者（校長が認める当該校の教員）を届け出なければならない。

(2) 参加申込書に記載された監督・コーチ・マネージャー・選手の変更は、監督・主将会議終了後、ただちに競技委員長に届けなければならない。

(3) 各試合のエントリーは、第1試合は試合開始30分前、第2試合以降は、前の試合の第1セット終了までに指定の構成メンバー表に記入し、本部席まで提出する。試合が連続する場合は、試合終了後すみやかに提出する。

(4) 構成メンバーとは試合毎にエントリーされたメンバーである。

### 3 ベンチの着席について

(1) 監督・コーチ・マネージャー各1名、選手14名以内とする。監督・コーチは当該高等学校の教職員、マネージャーは当該高等学校の教職員もしくは生徒とする。ただし、監督・コーチがともに外部指導者の場合は、当該高等学校長および高体連バレーボール専門部長の承認を得なければならない。なお、引率責任者はベンチに入ることはできない。

(2) 監督・コーチ・マネージャーは、それぞれ左胸にマークをつけなければならない。

(3) 監督はスコアラーズテーブルに最も近い位置のチームベンチに座る。ただし、試合を妨げたり、遅らせたりしなければ、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で立ちながらでも歩きながらでも指示を出すことができる。

※主審に向かって左側にベンチがある場合・・・ラインジャッジ(L2)の判定に影響がある場所には立たないこと。

(4) ベンチスタッフは、ジャケットを着用するか、統一された服装で襟付きのものを着用すること。Tシャツ等の襟の無いものや、短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されない。マネージャーが生徒の場合は、制服または選手ウェアと同じジャージが望ましい。

### 4 コートワイピングについて

(1) コート内の選手が、ラリー終了からサービス許可までの間に行う。ただし、構成メンバー以外の登録されたメンバーから最大2名をクイック・モッパーとしてベンチの両側に配置できる。1名の場合は監督席と記録席の間に配置しワイピングを迅速に行う。服装は、試合用ユニフォーム以外の統一された服装とする。クイック・モッパーは、モッピングが目的なので応援等はできない。

(2) タイムアウト中、およびセット間については、クイック・モッパが行う。クイック・モッパがいない場合は、競技者あるいはベンチスタッフがモップを使って行っても良い。

## 5 リベロについて

(1) リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができない。

(2) リベロは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。ユニフォームの色は、チームの他の選手とは明らかに対照的でなければならない。対照的な色でない場合、競技委員・審判委員の判断でベストを着用することがある。

(3) 本大会は、参加チームもアシスタント・スコアラーを担当するので、交代する時はサイドライン上で一度、対になり立ち止まる。また、タイムアウト後は、前ラリーの状態に戻り、その後に交代する。

(4) 正規の競技者とリベロ競技者について

①構成メンバーが12名以内の場合、リベロ競技者の人数は0名・1名・2名のいずれでも良い。

②構成メンバーが13名及び14名の場合、リベロ競技者の人数は2名でなければならない。

## 6 試合前の練習について

(1) 公式練習前、ウォームアップでネット・ボールを使うことができる。ただし、近接コートにボールが入らないようボールキーパーを配置する。

(2) 公式練習には構成メンバー以外の登録メンバーも、ボールキーパー(ユニフォーム以外のものを着用する)として練習に参加することができる。

※ボールキーパーはコート外でボールを拾うことのみが許される。

(3) 公式練習を両チームが別々に行う場合、ネットを使用して練習しているチームの妨げにならないよう、もう一方のチームはエンドライン後方のフリーゾーンまたは自チームベンチ前でウォームアップを行う。

## 7 試合開始時間について

(1) 第1試合の開始時間は、次ページ「9. 開場時間、練習開始時間、第1試合開始時間、第1試合の補助員について」に記載しているので確認すること。プロトコールはその11分前に開始する。

(2) 第2試合以降は追い込み式とするが、いずれかのチームがその日の初試合となる場合、前試合終了30分後に試合を開始する。

ただし、初日G・Hコート第1試合と2日目F・G・Hコート第1試合は、第2試合のチームが補助員を担当するため、前試合終了60分後に試合を開始する。(次ページ「9」備考欄参照)

(3) 試合が連続する場合、初日・2日目は前試合終了40分後に、最終日は前試合終了50分後に試合を開始する。

## 8 その他

(1) 補助役員は、初日・2日目は参加チームにおいて、スコアラー1名、アシスタント・スコアラー2名、点示2名、ラインジャッジ4名の計9名で行う。2チームで分担する場合は5名ずつ計10名で行う。(初日は前試合の勝ちチーム、2日目は前試合の負けチームが行う。) なお、第1試合の補助員は、次ページ「9」に記載しているので確認すること。最終日の補助役員は全て開催支部生徒が行う。

(2) 開場から第1試合開始前までは、第1試合のチームがコートを半分ずつ使用して練習を行う。その際、両チームで話し合いネットを使ってもよい。第2、第3試合のチームは、第1試合のチームの練習の妨げにならない範囲で、コート周辺を使ってパス程度の練習を行ってもよい。